



 **感響の家** 内保製材株式会社

■暮らしギャラリー ふくらの杜

〒526-0244 滋賀県長浜市内保町7

■試住モデルハウス 響の杜

〒526-0244 滋賀県長浜市内保町740-15

☎0749-74-0161 ✉info@uchiboseizai.com



ココで暮らすコト

ひと、まち、つながる。

内保製材株式会社

ようこそ、暮らしの駅へ。



ココには楽しいコトがいっぱい！

暮らしギャラリーふくらの杜は、湖北長浜の「暮らしの駅」。地域みなさんの憩いの場になってほしい・・・と、2013年にオープンしました。この地域がより活気ある暮らしに。ひととひとがつながる喜びを感じるところになってほしいと

願っています。わたしたちは、地域工務店として「家をつくる」だけではなく、みなさんの暮らしを応援する、地域の「工務店」から「公務店」になりたいと考えます。湖北で暮らすみんなが幸せを感じ、この地域がより豊かになりますように。





家族と、友人と、 たのしい。つながる。

毎日をたのしく豊かに暮らしたい。

遠くに出かけるのもいいけれど、

ゆっくりほっこりすることは、とてもこちよい時間。

ここには、こころを豊かにする「時間」があります。

みんなが気軽に集まれる「場所」があります。

自分のすきなことを発信して、伝えるよろこび。

ここからいろいろなつながりがうまれる。



わたしのすきなコト。こだわりのモノ。
伝えるよろこび。



毎日が、しあわせ。



つくることが好き。
 描くことが好き。
 知ることが好き。
 おしゃべりが好き。
 つながることが好き。
 毎日が、しあわせ。



ここ湖北には、輝くひとがいっぱい。



毎日を、
ていねいに暮らす。



湖北には、今もきちんと伝統を大切にする文化があります。
でも、それは意識して守っていかなければ
だんだん薄れてしまうものでもあります。
その時にしかできないこと、しておきたいことを
逃したくありません。
子どもに、地域に……。しっかり伝えていきたい。



地域で輝くひと。

伝えたい想い。



この地域の伝統・文化を、これからの世代に伝えたいと思うひとが湖北にはたくさんいます。そんな地域のひとたちとつながり、ホンモノを伝え続けていきたい。春には鯖そうめん、冬にはえび豆など、湖北に伝わ

る郷土料理。また、その季節にしかできないことを世代を問わずきちんと伝え、たくさんの人に湖北の豊かさを感じてほしい。『ココで暮らすコト』でみんなのところが豊かになり、地域が元気でありますように。





春

雪解けとともに春を待ちわびた動物や植物、昆虫が陽気に誘われて活動を始める。野鳥たちがさえずり、蝶々が現れる。堤防づたいには草花が咲き誇る。



夏

新緑が深くなり、森や山々が勢いよく生命を燃やす。あちこちでセミの声がきこえ、ジリジリと容赦なく太陽が照りつける頃子ども達はびわ湖や森へと繰り出す。



秋

田んぼが一面黄金色になり、赤とんぼがどこからともなく現れる。稲穂がこうべを垂れ収穫が始まる。やがて山々は赤や黄、茶色へと表情を変えていく。



冬

湖北では、「伊吹山に3度雪が降れば、里へと雪が下りてくる」と言われている。窓の外の景色を眺めながら、じっと春を待ちわびる人々の心は、春に向かってゆっくりと静かに温められていく



湖北に暮らすこと。

東に伊吹山、西には琵琶湖のある豊かな自然に囲まれた湖北地域。私たちの身近にある風景がここを和ませ、四季の移ろいを感じさせてくれます。夏は蒸し暑く、冬は大雪が積もる厳しい気候風土の中で湖北の人々の辛抱強い気質が育まれているのかもしれません。また、この地には古くから五穀豊穡のお祭り（オコナイ）などが行われ、今もなお、引き継がれています。このような文化や自然のなかで培われてきた人と人の温かい繋がりが暮らしの中で息づいています。



夏にはおじいちゃんがつくったスイカを皆でほおぼる。秋には子どもたちまで駆り出されての稲刈りの後は、あちこちの神社のお祭りで豊作を祝う。近所のおばちゃんがくれた採れたての野菜が食卓に並ぶ。おじいちゃん、おばあちゃんの時代に見られたこんな風景を、湖北では今でも見ることができます。3世代が仲良く暮らすご家族も多

く、家族の繋がりや地域の人々の繋がりが地域を元気にしています。新しいものも、もちろん上手に取り入れるけれど、伝統的なものも大切に受け継いで地域の人たちと共に暮らしていく。そんな湖北の暮らしが私たちのこころを豊かにしてくれます。



大切にしたい、暮らしと木の文化。



湖北で暮らすということ。それは、昔からこの地域で受け継がれている木の家のことを考えなければなりません。ここには豊かな森があり、わたしたちの原風景となっています。地元の山の木を使うこ

とが郷土の豊かな自然を守ります。また、雪深い湖北の暮らしをきちんと考えた昔ながらの住まいは先人の知恵です。それらを受け継いで守り、これからの世代にも伝えていきます。



夏休みの木工工作や、My 箸づくり、地域のマルシェへの木工ワークショップで、『木を使ったものづくり』を楽しく体験してもらえる機会をつくっています。

また、毎年ベンチを製作し、地域の方へのお役立ちのひとつとして幼小中学校などで使っていただいています。



楽しいな、ものづくり。



木の家の暮らし。

杉やヒノキの香り、
肌ざわりの良い無垢の床。
風のにおいや陽だまりのあたたかさ、
四季の移り変わりを愉しむ。
そんな暮らしが住む人の五感を育みます。
私たちの身近にある森の木を使うことで
気候風土に適した住まいになり、
地域の風景や環境を守ることに
つながります。
人や地域にやさしい家づくりや暮らしを
次代へ伝えていくことも
私たちの大切な役割です。



そこに住む家族の
豊かな感性を育み
こころとからだに
やさしく響く家で
ありたい





暮らしギャラリー ふくらの杜

土間、深い庇、どっしりとした骨太の柱や梁など、昔ながらの湖北の家の良いところを現代の住まいに活かしています。また、様々なイベントや教室などが行われ、地域の人々の笑顔が集まります。



ギャラリーをご利用いただけます。

地域のみなさまの教室や展示会、サークル活動などにご利用ください。詳細は内保製材までお気軽にお問合せください。



試住モデルハウス 響の杜 Sustainable Labo

広葉樹のお庭が広がり四季を感じられる暮らし。「平屋」のような住まいは将来を見据えた暮らしやすい間取り。試住で住み心地を体感できます。



試住のご案内

ご家族のみで一泊していただける体験です。木の家の暮らしをごゆっくりご体感ください。

【お申込み方法】

試住をご希望の方は、ご希望日の10日前までにホームページご予約フォームまたはお電話にてお申込み下さい。
※ホームページにて詳細をご確認の上お申込みください。受付後、担当者よりご連絡させていただきます。

内保製材の家づくりがわかる

5つの場所



製材工場

材木屋から始まり、自社製材を持つ内保製材だからこそ、木の良さを最大限に生かせるよう最良の加工と品質管理をしています。製材工場では内保製材のこだわりをご覧ください。



木の家の暮らしを体感したり、
住まいづくりに役立つ情報を知る
5つの場所があります。
実際に見て、触れて、
体感してみませんか。
あなたの住まいづくりがもっと楽
しくなるかも知れません。



お住まい宅訪問

ホームオーナー様のお住まいをご案内させていただきます。見学会やモデルハウスではわからない「実際の暮らし」を体感していただけます。住まい手の声や体験談を聞くことで、家づくりの参考になることがたくさんあるでしょう。



感響ファーム

「感響ファーム」は、内保製材と私たちのお客様が一緒につくる農園で、サツマイモの苗植えや収穫体験などを行っています。「どうして工務店が農園をやっているの？」と思われるでしょうか。家も食べものも、どちらも手間暇かけてつくることを大切にしたい。みんなでつくる楽しさ、自然とつながる喜びを感じてほしい。「家づくり」だけでなく、こころ豊かな「暮らしづくり」を応援したいという思いがあります。



暮らしギャラリーふくらの杜

外に向かって大きく開いた建物はこの地域の自然の豊かさを改めて感じさせてくれ、自然と繋がって生きる心地よさを体感できます。木の家のぬくもりやかいど、土間といった湖北の家らしい造りにも触れていただけます。また、地域の方々の暮らしの駅として開放しています。

試住モデルハウス 響の杜 Sustainable Labo

静かな森の中に佇む響の杜。自然に包まれながら四季を愉しむ「平屋」のような暮らしを体感できます。また、「持続可能な未来のための家づくりを！」と Sustainable Labo (サステナブル ラボ) とサブネームを付け、「太陽エネルギーのみで暮らす住宅」の実験棟として挑戦しています。のびやかな暮らしを試住で体感してみませんか。





これからも つないでいきたい 「想い」があります。

これまでとこれからとを継ぐ「今」
常に過去と未来の間にあり途切れない「今」

形を変えながらも、今も活きる暮らしの知恵や文化が色濃く残る湖北。
この地域で暮らす人々の感性を育んできたびわ湖や山々など豊かな自然。

そんな風土に培われ、人情味あふれ、
人付き合いをたいせつにする湖北のひと。
伝統行事を大切にし、湖北が好きな愛郷心の高いひと。

こころ豊かで行動力あふれるひとたちが
今も変わることなくこの地域を支え、まちを支えています。

ひと昔前の何気ない当たり前であった暮らしの風景が
当たり前でなくなりつつある今、私達はその大切さに気づき、
今のカタチとして創造していく責務があります。

先人への感謝と未来への使命をもって、私達は次代へとその想いを継げます。

内保製材のあゆみ ～三代目 代表 川瀬 之洋 が語る～

草成期 木の魅力に惹かれて製材を始める

内保製材の創業は昭和25年、木の魅力に惹き込まれた祖父が、製材業を生業としたことに始まります。

もともと祖父は、農業の傍ら、綿打ち業や米つき業などを営んでいました。木を扱い始めたのは40歳になった頃でした。「いつのまにか木の魅力に惹き込まれていた」当時、祖父はそう語っていたそうです。この地域は、古くから豊かな森林に恵まれており、美しい森があります。そうした見事な木々に触れる中で「木を活かす仕事がしたい」という志を持つようになっていったのです。そのうちに、息子たちが祖父を手伝うようになり、農業の傍ら、地域の大工さんたちに木材を販売するようになりました。

成長期 地域の役に立ちたくて住宅建築に挑戦する

2代目として内保製材を継いだのは、父でした。

父は中学を卒業するとすぐに祖父の仕事を手伝うようになり、事業を少しずつ大きくしていきました。そんな中、不運が見舞います。昭和44年春のことでした。製材工場が火事に遭ったのです。幾棟かの工場と資材が灰となりました。それまでの努力が一瞬にして灰になってしまったのです。言葉では言い表せないほど悔しい思いをしました。焼け跡の前に、悔しさと同様に火事の中で力を貸して下さった地域の方々に「恩返しをしたい」という想いが芽生えていました。

「必ず内保製材を再建して、地域の役に立とう」そう誓って、無心で働く日々が始まりました。世の中は高度経済成長時代に突入。住宅建築ブームの中で、内保製材も住宅建築の請負へと進み、地域の人たちから直接「家を建ててほしい」というお話をいただくようになったのです。「地域の方が求めておられることには、なんとかして応えたい」そんな想いから、住宅建築に取り組み始めました。そして昭和60年、有限会社内保製材所となりました。この頃には、建築請負が事業の中心になりつつありました。

変革期 多様化するニーズの中で自社の目指す道を模索する

平成8年、内保製材が住宅会社としての基盤を固めた頃、現在の私と弟が会社へ戻ってきました。それぞれが建築につながる業界で経験を積んだ上で、家業に合流したのです。バブル崩壊後のこの時代には、住まい方の多様化が鮮明になってきていました。住宅会社がそんなニーズに対応しなければならない時代がきていたのです。内保製材も、「これまでのような家づくりでは通用しない」と感じるようになっていました。「製材所であることを活かし、木のよさをアピールできるような家づくりがしたい」と考えました。木の家づくりとはなんだろう、住まい手に本当に喜ばれる家とはどんな家だろう、内保製材の家づくりとはなんだろう・・・模索する日々が続きました。

第二創業期 「感響の家」の確立とさらなる進化へ

平成16年9月、組織を内保製材株式会社へと改め、同時に3代目として、私が就任しました。そして「製材所を持つ工務店」という内保製材の強みを活かす家『感響の家』が生まれたのです。

この地に育ててもらったのだから、この地にあるものを活かしたい。地域の木や素材を活かしたい。この地域の人たちに支えられてきたのだから、地域の人たちが大切にする暮らしを現代の家に活かしたい。木のプロとして、木が本来持つ良さを最大限に活かした家をつくりたい。地域の環境を守るために、循環可能な材料である木を活かしたい。暮らしを通じて、住まい手の感性を育むお手伝いがしたい。こうした想いを素材や材料、工法などに落とし込んで、カタチにしたのが『感響の家』です。私たちは、祖父が惹かれた木の魅力を、存分に引き出す家をつくります。父らが誓った地域への貢献に、常に努めてまいります。木のプロとして、家づくりのプロとして、内保製材の家づくりをよりいっそう深化させ、次の世代へとつなぎます。

会社概要

【会社名】 内保製材株式会社

【創業年月日】 昭和25年4月1日

【代表者名】 川瀬 之洋

【住所】 〒526-0244 滋賀県長浜市内保町7番地

【業務内容】 新築・リフォーム・リノベーションの設計施工
宅地建物取引業
その他建築に関わる工事

【登録】 特定建設業 滋賀県知事 許可（特-1）第61490号
一級建築士事務所登録：滋賀県知事登録（い）第2701号
宅地建物取引業：滋賀県知事（6）第2553号
住宅性能保証制度業者登録：21003319
産業廃棄物収集運搬業 許可番号 第02500187638号

【加盟団体】 エアパスグループ会員
NPO法人環境共棲住宅「地球の会」会員
滋賀県木材協会会員
一般社団法人滋賀県木造住宅協会会員
一般社団法人JBN会員
公益社団法人滋賀県宅地建物取引業協会会員
一般社団法人滋賀県建築士事務所協会会員
木造ドミノ研究会会員

【沿革】 昭和25年 川瀬 憲三が木材製材業を始める
昭和60年 法人組織となり 「有限会社 内保製材所」となる
平成16年 「内保製材株式会社」に組織変更
平成16年 「感響の家」ブランド立ち上げ（商標登録：第5352802号）
平成17年 「暮らし体感型モデルハウス内保展示場」 オープン
平成25年 「暮らしギャラリーふくらの杜」 オープン
令和3年 「試住モデルハウス響の杜」 オープン
現在に至る

【休業日】 水曜日・祝日

【ご連絡】 TEL：0749-74-0161 FAX：0749-74-0514

mail：info@uchiboseizai.com

コトbook/ココで暮らすコト ～ひと、まち、つながる。～
発行：2022年5月改訂 / 内保製材株式会社
滋賀県長浜市内保町7 https://www.uchiboseizai.com
編集・制作：内保製材スタッフ